

月影

平成十九年七月一日（第十九号）

浄土宗西山禅林寺派

せいざんぜんりんじは

常林院

ぼれぼれと

南無阿弥陀仏と唱うるが

本願の名号にてはあるなり

これを白木の念仏とはいふなり

西山上人

せいざんしょうにん



法然上人の弟子である西山上人は、浄土宗西山派の祖師です。十四歳で出家し、法然上人のもとに入室しました。以来、法然上人が入滅するまでの二十三年間にわたり随従します。正式の名は證空上人ですが、法然上人の入滅後、京都の西山善峰寺の北尾往生院（現在の三鈷寺）に移住し、ここを本拠地として布教活動をされたことから、いつしか西山上人と呼ばれるようになりました。

現在、西山派は、西山禅林寺派（本山は永観堂）、西山浄土宗（本山は粟生の光明寺）、西山深草派（本山は新京極六角の誓願寺）の三総本山に継承されています。浄土宗は「南無阿弥陀仏と唱えれば往生する」という

教えです。「南無阿弥陀仏」の「南無」とは歸命（おまかせします）という意味です。したがって、お念仏は「阿弥陀さまにおまかせします。」と云っていることになりました。

さて、お念仏を唱える時、どういう気持ちで唱えればいいのか。西山上人は、自分の願いを込めたり、往生するための修行と云って唱えるのではなく、白木のように色どりのない心で唱えなさいと言われました。

「至らないこの私が救われると思うと、ありがたくてあまりのうれしさに、思わずお念仏が口から出てくる。」というお念仏が西山派のお念仏です。なかなか難しいです。

盆行事予定

墓回向

八月五日（日）～七日（火）

午前七時から午前中

お墓と本堂にて回向致します。



棚経

日時はお送りしたハガキをご覧ください。

棚経とは仏壇前の精霊棚の前で読経するところから棚経というようになりました。

お施餓鬼

八月十六日（木）午後六時半より

本堂にて塔婆回向致します。

塔婆回向ご希望の方は、当日までに先祖代々の水塔婆をお持ちいただくか、ご連絡くださるようお願いいたします。

※ご不明な点、お聞きしたいことなどございましたら、お気軽にご連絡ください。

仏事と作法

お盆の水塔婆について

① 水塔婆を受け取る

お墓参りの際にお寺にお寄り下さい。水塔婆をお渡しします。

② 水塔婆をお仏壇に供える（ご先祖様をお迎えする）

お墓参り後、水塔婆をお持ち帰りになって、お仏壇にお供えください。その間、棚経参りを致します。

③ 水塔婆をお墓に供える（ご先祖様をお送りする）

十六日に再びお墓参りをされて、水塔婆をお墓にお供えください。

その際に、お施餓鬼をご希望される方は、先祖代々の水塔婆を寺に渡してお申し込みください。

※これは基本の形ですが、寺によって様々な形があります。また、家々のご都合によって流れが変わってくる場合もあるかと思えます。

水塔婆とは、お釈迦様の入滅後、弟子たちが遺骨を分骨し、

塔を建てて供養したのがはじまりです。この塔をストウパーといい、それが日本語の卒塔婆（そとうば）となり、形をまねて板塔婆がつくられるようになりました。

塔婆供養は一切の不浄を除いて、その場を浄土とし、霊の安住地とする意味があります。